

『Change & Challenge』

3カ年ビジョン

付加価値の高いソリューション提供により
地域力を強化する信用金庫へ変革

第10次中計 ▶▶

3つの
『Change & Challenge』

①
お客さま起点で課題を
解決する信用金庫へ

②
1人1人が主体性を持ち
考動する信用金庫へ

③
高いクオリティで迅速に
改革する信用金庫へ

3つの
基本戦略

I
地域力の強化

II
自律型人材の
育成

III
業務
イノベーション

コンプライアンス態勢の高度化

長期ビジョン

持続可能な地域社会の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

地域No.1
パートナーバンクへ

地域と一体となり、共に地域の新しい
価値を創造する信用金庫へ

地域の生産性向上 地域経済の発展

金融仲介機能の発揮

人材の獲得と育成 組織の魅力向上

健全性の高い経営基盤の構築

〈 主要計数目標 〉

第10次中期経営計画の2年目(2022年度)の実績と3年目(2023年度)の目標は次の通りです。

指 標	項 目	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
収 益 性	お客さま向けサービス業務粗利益(※)	11,800百万円	12,399百万円	12,000百万円
	コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	5,900百万円	6,090百万円	5,700百万円
生 産 性	コアOHR(投資信託解約損益、減価償却費、預金保険料を除く)	65.00%以下	64.30%	66.00%以下
規 模	預金残高(期中平均残高)	22,700億円	22,745億円	23,000億円
	貸出金残高(期中平均残高)	11,690億円	11,542億円	11,750億円
	預貸率(期中平均残高)	51.50%	50.74%	51.00%

※お客さま向けサービス業務粗利益＝貸出金利息－預金利息×預貸率＋役務取引等利益

〈 第10次中期経営計画2年目(2022年度)のご報告 〉

●損益の状況

2022年度は、経常利益33億円、当期純利益25億円となりました。

(単位：百万円)

	2021年度	2022年度	増 減
業務粗利益	21,921	16,003	△5,917
資金利益	20,056	17,384	△2,672
役務取引等利益	1,374	1,832	457
その他業務利益	489	△3,213	△3,703
(うち国債等債券関係損益)	245	△3,451	△3,697
経費	15,132	14,872	△260
人件費	9,704	9,766	61
物件費	4,948	4,621	△327
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
業務純益(※1)	6,788	1,131	△5,657
コア業務純益(※2)	6,543	4,583	△1,959
臨時損益	△5	2,198	2,204
不良債権処理損益	△279	24	304
株式等関係損益	206	1,941	1,734
経常利益	6,782	3,329	△3,452
特別損益	△4	△24	△19
当期純利益	5,013	2,557	△2,455

※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。

※2 コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因(国債等債券関係損益等)を除いた、より実質的な収益力を表す利益です。